

2022年9月27日

各 位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 宇根 高司
(コード番号 4968 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役経営企画室長 高木 信之
TEL (06) 6209-8500 (代表)

荒川ヨーロッパ社（ドイツ）における水素化石油樹脂の製造終了に関するお知らせ

当社は、2022年9月27日開催の取締役会において、下記のとおり連結子会社である荒川ヨーロッパ社（ARAKAWA Europe GmbH）における水素化石油樹脂「アルコン」（粘着・接着剤用樹脂、プラスチック用添加剤等）の製造を終了することを決議しましたのでお知らせします。なお、荒川ヨーロッパ社での製造終了後は、水島工場と千葉アルコン製造株式会社（稼働準備中）の2拠点からの供給体制とし、荒川ヨーロッパ社は欧州を中心とした販売拠点としての事業活動は継続いたします。

記

1. 製造終了の経緯

当社は、1965年に高圧水素化技術を応用した無色透明な水素化石油樹脂「アルコン」を世界に先駆けて開発し、1970年には水島工場（岡山県倉敷市）で本格的な商業生産を開始しました。また、2010年にはダウ・ケミカル社からドイツのコンビナート内に設置した水素化石油樹脂の一貫製造設備を譲り受け、日本とドイツの2拠点体制としました。さらに、2018年にはコスモエネルギーホールディングス株式会社および丸善石油化学株式会社の3社で千葉アルコン製造株式会社（稼働準備中）を設立し、今後も世界的に需要が増加すると見込まれる紙おむつなどの衛生材料向けホットメルト接着剤用途への対応も可能とすべく、グローバル3拠点体制での水素化石油樹脂事業の拡大を目指してきました。

しかしながら、欧州における天然ガスおよび水素価格の歴史的な高騰や原材料事情の悪化により、水素化石油樹脂の製造コストは著しく上昇しており、今後についても、ウクライナ情勢の長期化などによる欧州でのエネルギー事情を鑑みると、現在の状況が改善する可能性は低いと判断し、荒川ヨーロッパ社における水素化石油樹脂の製造については、2023年3月（予定）をもって終了することとしました。

荒川ヨーロッパ社での製造終了後は、水島工場と千葉アルコン製造の2拠点からの供給体制とし、グローバル販売戦略を再構築することにより、水素化石油樹脂の安定供給と収益性の向上を図ってまいります。なお、荒川ヨーロッパ社は欧州を中心とした販売拠点としての事業活動は継続いたします。

2. 製造終了の日程

2022年9月27日 当社取締役会決議
2023年3月 製造終了（予定）

3. 荒川ヨーロッパ社の概要

(1) 名称	ARAKAWA Europe GmbH
(2) 所在地	Hafenstr. 2, 04442 Zwenkau, GERMANY
(3) 代表者	Uwe Holland
(4) 設立年月日	1998年11月9日
(5) 事業の概要	水素化石油樹脂の製造および販売
(6) 生産能力	約20千トン／年
(7) 決算期	12月
(8) 資本の額	52千ユーロ
(9) 出資比率	荒川化学工業株式会社 100%

4. 今後の見通し

本件に伴う当社グループの連結業績への影響につきましては、現在精査中であり、今後開示すべき事項について確定した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

[参考資料]

《荒川化学グループにおける水素化石油樹脂事業の歩み》

- 1965年 世界に先駆けて水素化石油樹脂「アルコン」を開発
- 1967年 高圧水素化技術を有する森田高圧化学株式会社（現高圧化学工業株式会社）をグループ化し、「アルコン」の製造を開始
- 1970年 岡山県倉敷市水島コンビナート地区に水島工場を開設し、「アルコン」の商業生産を開始（生産能力7千トン／年）
- 1985年 水島工場の生産能力を15千トン／年へ増強
- 1998年 ダウ・ケミカル社が、当社からの製造技術ライセンス供与により、ドイツのコンビナート内に水素化石油樹脂の製造設備を設置
- 1998年 ARAKAWA Europe GmbHを設立（出資比率：ダウ・ケミカル社60%、当社40%）
- 2010年 ARAKAWA Europe GmbHがダウ・ケミカル社より水素化石油樹脂事業、出資持分を取得
- 2018年 千葉アルコン製造株式会社（稼働準備中）を設立（出資比率：当社51%、コスモエネルギーホールディングス14%、丸善石油化学35%）